



あしべつ

市議会だより

2024年
5月1日
No.31

芦別市議会ホームページ <https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/gikai/>



市議会と市民との意見交換会（令和6年2月13日）

主な内容

- ◎3月定例会代表質問……………2頁
- ◎3月定例会一般質問……………2～3頁
- ◎6月定例会市議会のお知らせ……………4～6頁
- ◎3月定例会の議決結果……………7頁
- ◎意見交換会を行いました……………8頁

この1年間、市民の皆様のご期待に沿い得なかったこともあったことと思いますが、その点は十分反省をし、議長2年目に向け、議会の運営に努力していく覚悟でありますので、市民の皆様にはご理解いただきご支援賜りますようお願い申し上げます。

3月7日から第2回市議会（定例会）が開催され、市から提出された議案を審議し、また、荻原市長2期目最終年度の令和6年度市政執行方針及び教育行政執行方針に対する代表質問・一般質問が行われ、芦別市が抱えています諸課題について議論を交わし、22日に令和6年度各会計予算や条例等を可決し閉会しました。今定例会では、議員から水道事業会計予算に対する修正案が提出され、否決された他、補正予算が最終日に追加提案され可決されました。また、条例改正1件が休会中の継続審査となりました。

3月20日に開催された啓成中学校閉校記念式典に出席させていただきました。上芦別中学校、野花南中学校、滝里中学校が統合して誕生した啓成中学校であります。この度の閉校は、人口減少に伴い生徒数が減少していくことを踏まえ、次代を担う生徒の健全な教育環境を確保するために芦別中学校と統合するものであります。私自身、啓成中学校の卒業生でありまして、3年間学んだ学校が閉校することは寂しい限りであります。4月からスタートしました新芦別中学校では、生徒の皆さんが力を合わせ、芦別中学校、啓成中学校の伝統を引き継ぎ、新たな歴史を刻んでいただきたいと思います。



議長動静

芦別市議会議員

北村

真

3月定例会 代表質問

3月定例会 代表質問

創政会



大鎌 光純 議員



大鎌議員の
YouTube
動画

防災対策について

質問

自主防災組織の設立の現状、組織数・市内カバー率と今後の課題について伺う。

答弁

自主防災組織の設立状況は、平成26年度に西宮元町町内会、平成27年度に上芦別町第5町内会、平成28年度に新城、深水、中央、三角山の各町内会、平成29年に旭町町内会、令和2年度に野花南町町内会で設立され、現在、8町内会で組織されており、市内カバー率は31.21%となっているところです。

設立に向けた課題としては、自主防災組織への理解や高齢化、人口減少による担い手不足などがありますが、設立に向けては、住民一人一人が防災に対する意識を高めることが重要と考えており、町内会や団体等に防災講座の講師派遣を行うなどの支援に努めてまいります。

町内会の維持に向けた支援策について

質問

町内会の統合も含めた支援策を講じることの必要性について伺う。

答弁

人口減少が進んでいる本市において、町内会活動を円滑に推進するための環境整備や町内会再編のための支援は、重要との認識のもと、現行の町内会活動促進助成条例に基づき、これまでに町内会を再編した場合の助成金として、再編前の1町内会につき10万円を令和3年度には再編する2町内会に対し交付しているところでありますが、今後も町内会との意見交換を行いながら、制度内容を含めた必要な対応に取り組んでまいりたいと考えております。

高齢者福祉の充実について

質問

本市の高齢者を取り巻く現状と課題の認識について伺う。

答弁

総人口が減少する中で高齢者人口は、ほぼ横ばいに推移し、本市の高齢化率は上昇を続けている現状にあり、また、ひとり暮らし高齢者世帯や高齢者夫婦世帯が増加傾向にみられることから、孤立の防止や家事などの生活支援と

ともに、誰もが世代を超えて支えあふ地域づくりを推進することが課題と認識しております。

質問

将来的な高齢者の見守り体制のあり方について伺う。

答弁

民間事業者との高齢者見守り協定や高齢者SOSネットワーク事業等については、従来の電話やファックスによる連絡手段からメールやLINEも活用した体制へ再構築を図るほか、緊急通報装置設置事業については、携帯電話の普及により固定電話を持たない高齢者世帯も今後予測されることから、将来に向けてモバイル型に対応した緊急通報手段について調査研究をしてまいりたいと考えております。

新たな価値創出の取り組みについて

質問

未来社会に向けた新たな価値創出の方向性や考え方について伺う。

答弁

ソサエティ5.0の目指す社会は、今後、高齢化が進む本市の社会的課題の解決に有効であり、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進するため、ソサエティ5.0の考え方を新たな価値創出と捉え、AIやビッグデータなどの未来を見据えたデジタル技術を、あらゆる産業や社会生活に取り入れることで、少子高齢化が進む本

市にとって、様々なニーズに対応した質の高いサービスを受けられる社会を展望することにつながることを認識しており、ひいては経済的な発展にも寄与するものと考えているところであります。

ドッグランの活用について

質問

ドッグランの運営を市内の愛犬家と協働で行うことについて伺う。

答弁

ドッグランの運営は、芦別観光協会の自主事業として維持管理が行われることから、清掃や巡視の諸業務において、市内の愛犬家の皆様から得られるサポートは有益と考えられますが、指定管理者である同協会の判断によることから、ご提言として、同協会にお伝えしたいと考えております。





石川 洋一 議員



石川議員の
YouTube
動画

防災対策について

質問

避難所運営体制の推進や防災用資材の備蓄など、計画的な防災活動の定期的な点検、補充のサイクル及びすべての避難所にペットとの同行避難が可能なのかについて伺う。

答弁

各地域で行っている防災の設営訓練などにより運営体制の強化を図っており、防災用資材の備蓄品の定期的な点検は、担当職員が発電機などの機器の動作点検を定期的に実施しております。また、ペットとの同行避難では、飼い主が用意したゲージにより、同行避難は可能であると考えております。

市総合庁舎の整備について

質問

現庁舎における各種業務に係る端末システムの一本化と、「書かない窓口」等の推進について伺う。

答弁

推進に向けた取組方針を年内に策定する予定であり、その中で各種業務に係る端末システムの一本化等についても、検討してまいりたいと考えております。
一般国道452号の整備促進について

質問

一般国道452号の整備促進に向けて地域としての機運をどのように高めていくのかについて伺う。

答弁

PR動画をまちづくり懇談会で上映や市ホームページに、開通後に期待される効果を市民に情報提供するほか、経済団体を始めとする関係機関と連携し、気運の醸成に引き続き努めてまいります。

空き家対策について

質問

空き家の活用に関する施策やアイデアを市民公募することの検討について伺う。

答弁

市民公募による空き家の活用に関する施策やアイデアの活用については、まちの活性化にも繋がるものと考えられるので、検討を進めたいと考えております。

脱炭素に関する取り組みについて

質問

雪冷房施設の導入およびガバメントクラウドファンディングの活用について伺う。

答弁

再生可能エネルギー導入調査業務において、本市の再生可能エネルギーのポテンシャルやエネルギー消費量の実態把握など基礎調査、分析結果を踏まえながら、本市として取り得る具体的な施策及び財源について検討してまいります。

滝里湖オートキャンプ場について

質問

冬の営業について伺う。

答弁

管理棟を兼用している国の滝里ダム防災施設の開館や浄水処理施設の稼働などが必要となることや、指定管理者の人員対応と除雪費などによる経費が増加することから、費用対効果の面からも、営業することは現実的には困難と考えております。

部活動について

質問

部活動の地域移行について伺う。

答弁

地域移行を担う人材の確保と受け皿づくりについては、市内のスポーツ団体や文化芸術団体と個別に、部活動の地域移行に向けた指導者の確保や受け皿となる地域クラブのあり方などについて意見交換を行っているところであります。

いじめ、不登校について

質問

どのような対策を取っているのかについて伺う。

答弁

教育委員会において、小中学校、高校の生徒会の役員が一堂に会し、グループごとに分かれ、いじめ撲滅に向け、仲間づくり「子ども会議」を開催するなどの取組を行っております。また、不登校対策については、学校においては、不登校又は不登校傾向のある生徒について、校内委員会で教職員間の情報共有を図り、担任、生徒指導担当の教員を中心に、家庭と連絡を取り、子どもの登校に向けた対策に当たっております。

宿泊交流センターについて

質問

宿泊交流センターの活用促進策として、スポーツ合宿以外の目的利用を促すための具体的な施策や取組みについて伺う。

答弁

スポーツ合宿のみならず、文化合宿などの利用を促進するため、スポーツ・文化活動の拠点となる各施設を市ホームページ等により関係機関へ広く周知し、引き続き利用促進に向けた積極的な誘致活動に取り組んでまいります。

3月定例会 一般質問

日本共産党



松井 邦男 議員



松井議員の
YouTube
動画

総合庁舎の整備先送り浄水場更新に関わり、水道料金改定について

質問

説明会資料では、令和7年に20%値上げした以降、5年毎に料金改定の計画。令和22年の供給単価は1ヶ603円との試算をもとに単純計算したら、家事用5ヶ料金は3千円台とならないか伺う。

答弁

説明会資料で示した改定単価は、一般会計からの支援を見込まない試算で、支援を受けた場合は約400円程度と見込まれます。

質問

今年から予定の浄水場更新実施設計の断念と計画全体の再検討について
将来の人口減少や財政の厳しい状況が見込まれる。事業費の増高により市民の負担能力を超える水道料金が懸念される。身の丈にあった浄水場規模とすべきであり、提案の浄水場実施設計は断

念し、計画の再検討への市長の決断を伺う。

答弁

市民生活に欠かせない水の安定供給のために速やかな建替えは必要。建設財源の確保、運営のトータルコスト抑制など十分精査しており、現時点では実施設計断念の考えはありません。

公営の合葬墓造成について

質問

全国、道内各地で公営の合葬墓造成が進んでいる。市による平成24年の合葬墓建設のアンケートでは必要が約53%。時代の流れで公営合葬墓の高まりへの認識は。各市では多数の寺院との意見調整、理解のもとで造成を進めてきたのではないか、状況を伺う。

答弁

公営による合葬墓造成への要望の高まりは、他自治体の状況からも認識しており、関係の宗教法人等との意見交換を進めます。他市では宗教法人等との協議のもとに進めてきたと伺っています。

質問

医師確保は待ったなし。市内の医師が少ないもので、開業医誘致制度の検討に数年もかかっている問題は何か伺う。

答弁

3月に医師会会長との意見交換を行なう日程調

整の運びとなった。市内の医療体制や医師会会員との意見交換を行い、合意形成が得られれば、医療協議会に付議し、関係者との意見を十分聞いて慎重に対応してまいります。

市民の市政参加・協働と町内会未加入世帯への対応について

質問

約1200の町内会未加入世帯は、広報紙等など適宜必要な情報提供を受けられないため不利益を被っているが、行政として何も問題はないとの認識か。町内会の協力で、未加入世帯に広報紙などの情報提供についての意向を把握すべきである。考えを伺う。

答弁

未加入者を特定できないため、不利益の確認はできないが、多くの市民に情報提供するため、改善に向けて他市での取り組みなどを研究してまいります。

無所属



若松 市政 議員



若松議員の
YouTube
動画

防災について

質問

避難所の整備体制、備蓄品の状況、厳寒期にお

ける対策、地域住民への指令伝達の整備について伺う。

答弁

災害の発生、または、対象地域の住民が一定期間避難して生活する場所として、耐震性や耐火性のある学校や多目的センターなどを避難所として指定し、備蓄計画では、想定災害を直下型地震震度5強、建物被害を震度6弱として、422世帯、716人を備蓄交付対象者として備蓄目標を定め、飲料水やアルファ米などの食料や携帯トイレ、毛布、寝袋、発電機、石油ストーブなど厳寒期にも対応できるよう備蓄しているところです。地域住民への伝達については、災害の発生、または、そのおそれのある場合には、市から気象情報や避難情報などを防災メールやSNS、ホームページ、広報車などでお知らせすることとしております。

地域公共交通について

質問

バス路線が届かない地域における民間自動車を活用した公共交通の確保について伺う。

答弁

高齢化の進行に伴い、移動手段を持てなくなる方の増加が見込まれることから、これらの方が住む地域の公共交通を確保するうえで、個人の車両を活用し

た移動手段の確保は有効な手法の一つと考えられ、国の制度の動向や各種事例を調査し、地域公共交通会議の中で検討してまいりたいと考えております。

農林業の担い手確保について

質問

農林業の担い手確保についてどのように考えているか伺う。

答弁

農業の担い手確保については、国の制度である次世代人材投資資金の活用や芦別市担い手育成条例に基づくUターン後継者等に対する就農支援のほか、北海道新規就農フェア等に出展し、本市の農業等を広く知っていただき、新規就農や農業法人への就農につなげていけるよう取り組みを進めてまいりたいと考えております。

行財政運営について

質問

行財政運営と改革の基
本方針の最終年度に当たって、現時点の評価と次なる基本方針の策定について伺う。

答弁

本方針の実施計画となる行財政改革推進プランにおいては、34項目の取組内容を掲げ、令和4年度から推進し、これまでに22項目に取り組み、約65パーセントの進捗状況となっております。また、削減効果額と自主財源の確保を

あわせ効果額については、令和6年度までの間で、約4億2千万円を目標とし、令和5年度までの見込みでは、約2億2百万円となっております。効果額としては低い状況となっております。

こうせい



清澤 茂宏 議員



清澤議員の
YouTube
動画

課題の解決に向かって行動していくことについて

質問

芦別の現状を考えた時、具体的な実施政策において課題の解決に向かって行動していくべきではないか伺う。

答弁

2期目の公約として重点八策を掲げ、この八策を基とし、総合計画と関連させながら具体的な実施施策を掲げ、課題の克服や解決に向けて着実に取り組んでいく考えであります。

市長自身が思う将来目指す方向について

質問

2期目最終年度の今年において、市長自身が思う将来目指す方向について伺う。

答弁

持続性のある豊かなまちを目指し「住み、働き、

学び、子育て」しやすく、そして「訪れたい」まちとして、実感いただける芦別を創造してまいりたいと考えております。

新浄水場の更新計画見直しについて

質問

新浄水場の更新計画を改めて見直す考えについて伺う。

答弁

令和3年度に策定した芦別浄水場更新基本計画は、シミュレーションを行い十分な精査を加え導いた計画であることから、本計画をベースに取り進めてまいりたいと考えております。

広域接続交通体制の確立のための議論について

質問

地域に密着した広域接続交通体制の確立のための議論について伺う。

答弁

滝川駅への接続交通は、多用途において不可欠なだけに、ご示唆の広域接続交通体制につきましても、関係市と意見交換する機会を設けてまいりたいと考えております。

定住政策の推進について

質問

移住者の呼び込みの前進に、定住政策の推進することについて伺う。

答弁

人口の社会減対策として、持続可能なまちの形成のためにも、移住者を増加させ、定住していただくことも重要と考え

両政策の推進に努めてまいりたいと考えております。

芦別版「時のアセスメント」の推進について

質問

芦別版「時のアセスメント」を市長の政治信念のもと、推進することについて伺う。

答弁

地域の状況や社会情勢など時代の変化を踏まえた施策の検証や再検討を行うことは当然必要と考えており、市民で構成する委員会等でのご意見をいただくことも視野に入れ、総合計画の見直しや総合戦略の策定に当たってまいりたいと考えております。

市内小中学校の配置計画について

質問

市内小中学校の配置計画について伺う。

答弁

子どもたちにとって望ましい教育環境を確保する視点に立って、様々な観点から議論を進めてまいらなければならないものと考えております。

文化系の合宿誘致について

質問

文化系の合宿に新たな可能性を追求する考えについて伺う。

答弁

文化系合宿の誘致につきましては、地域経済波及効果を誘発することが期待できるので、今後、積極的に誘致活動を進めてまいりたいと考えております。

公明党



松尾 達矢 議員



松尾議員の
YouTube
動画

防災対策について

質問

非常用トイレのタイプ、備蓄数、被災時にはどのような対応をとるのかについて伺う。

答弁

非常用トイレのタイプは、簡易トイレ型で、特殊フィルムの装着により1回毎に自動ラッピングし個別処理するものが20台、便座付きの組立式簡易トイレで各自が1回毎に収納袋を取り付け個別処理するものが34台で、延べ1万3450回分の使用が可能となっております。災害が発生し、断水等により水の供給がされない場合には、避難所の仮設トイレの設置までに、避難所のトイレスペースなどに非常用トイレを設置するほか、他の公共施設等のトイレスペースや簡易テントで困いを設けスペースを確保することを想定しております。

空き家対策について

質問

空き家調査の結果に基づき、どのような空き家

に対する対策が検討されているかについて伺う。

答弁

調査により空き家の件数の把握と倒壊や飛散の危険性の有無を判定し、地区別及び家屋の種類別に件数を調査しており、その結果をもって空家等対策計画に基づき効果的な対策を進める一方、空き家となる前に所有者との協議機会の創出などについても調査・検討を行うてまいりたいと考えております。

公営住宅について

質問

公営住宅の共益費の集金に対して、また、他市の状況について研究を重ねることに伺う。

答弁

共益費の集金につきましては、公営住宅に入居される方に担っていただくことを基本としておりますが、御示唆もいただきましたので改めて現状等の把握とともに、他市の状況についても調査・研究してまいりたいと考えております。

带状疱疹ワクチン接種について

質問

带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成における近隣市町村の助成について伺う。

答弁

中空知管内の状況は、令和6年4月から助成を実施するのは1市1町となっております。

議会をインターネットで生中継

本会議の様子を、動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)で生中継いたします。

過去に開催された本会議、常任委員会、特別委員会も視聴することができますので、ぜひご覧ください。



芦別市議会
YouTubeチャンネル



50歳以上を対象として、助成額は、歌志内市で生ワクチンが4810円、不活化ワクチンが1回につき1万3千円、奈井江町では生ワクチンが4千円、不活化ワクチンが1回につき1万円となっております。また、浦臼町では、本市と同様に本年度内の制度化に向け検討がされているとの情報を得ております。
※その他・「母子モ」アプリ・「わんわんパトロール」・高齢者向けの調理をして食事をする場所・スマート農業・事業承継・市の魅力をSNSで発信・「書かない窓口」推進と「行かない窓口」実現・部活動の地域移行・不登校対策・芦別高校魅力化に地域住民で取り組む、等について質問しました。

6月定例会市議会のお知らせ

- 会 期 6月14日(金)～24日(月)
- 日 程 14日(金) 本会議(議案の提案)
18日(火)・19日(水) 本会議(一般質問)
20日(木)・21日(金) 常任委員会
24日(月) 本会議(議案の議決)

- 開会時間 いずれも午前10時から
※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。



3月定例会 議決結果

3月定例会の議決結果

3月7日、令和6年第2回市議会（定例会）が招集され、会期を22日までの16日間と定めて、令和6年度各会計予算、令和5年度各会計補正予算、条例制定・改正などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果
5年度補正予算	一般会計（第16号）	原案可決	条例改正	介護保険条例	原案可決
〃	奨学資金特別会計（第1号）	原案可決	〃	保健福祉施設条例	原案可決
〃	国民健康保険特別会計（第3号）	原案可決	〃	障がい者地域生活支援事業条例	原案可決
〃	下水道事業特別会計（第1号）	原案可決	〃	企業振興事業補助金交付条例	原案可決
〃	介護保険事業特別会計（第4号）	原案可決	〃	指定地域密着型サービス事業の人員等の基準に関する条例等	原案可決
〃	後期高齢者医療特別会計（第2号）	原案可決	〃	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例	原案可決
〃	病院事業会計（第3号）	原案可決	〃	病院事業の設置等に関する条例	原案可決
新年度算	奨学資金特別会計	原案可決	人事案件	公平委員会委員の選任 (被選任者：津幡俊昭氏)	同意
〃	病院事業会計	原案可決	〃	農業委員会委員の任命 (被任命者：石川雅彦氏)	同意
〃	下水道事業特別会計	原案可決	その他	一般会計補正予算(第14号)の専決処分	承認
新年度補正予算	一般会計（第1号）	原案可決	報告案件	監査報告	報告済
条例制定	移動通信用鉄塔施設条例	原案可決	意見書	生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書	原案可決
条例改正	職員の育児休業等に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	原案可決	〃	訪問介護報酬引き下げの撤回を求める意見書	原案可決
〃	修学奨励金交付条例	原案可決	〃	若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書	原案可決
〃	普通公園条例等	原案可決	〃	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書	原案可決

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大鎌	林	田	新	竹	石	松	若	清	松	北
			光純	仲樹	良隆	充	真	洋一	邦男	市政	茂宏	達矢	真
5年度補正予算	一般会計（第15号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	水道事業会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
新年度予算	一般会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	国民健康保険特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	介護保険事業特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	後期高齢者医療特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議
〃	水道事業会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	議
	水道事業会計に対する修正案	修正案否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	議

■閉会中継続審査となった議案

議案	件名
条例改正	国民健康保険条例



意見交換会を行いました。

委員長 松尾達矢

令和6年2月13日(火)に、市議会と市民との意見交換会を開催いたしました。

参加者は市民15名と議員11名で、テーマは「児童・生徒数の推移」「移住定住」「除排雪」の3つでした。グループごとに議論が行われ、活発な意見交換が行われました。以下グループ毎の内容を紹介いたします。

①グループからは、児童・生徒数の減少に対処するために、企業誘致や住環境整備などの提案がありました。また、地域おこし協力隊の定着率向上や人数増加についても検討が求められました。除排雪に関しては、芦別市全体の除雪計画を重視する提案がありました。また、国の政策や予算の使い方に対する懸念も議論されました。児童・生徒数と移住・定住に関して、国の予算の使い方のわかりづらさが指摘されました。また、参加者数の少なさから、より効果的な市民懇談会の必要性が提案されました。

②グループからは、移住・定住に関しては、林業や木材関連商品で若者の関心を引く提案がありました。除排雪については、予算の透明性や市営住宅の道路負担に関する要望がありました。また、草刈りや花いっぱい運動についても、ボランティアへの報酬や参加しやすい形式の検討が求められました。最後に、意見交換会の在り方について、子育て世代や若者の参加を促すための工夫やオンライン配信の提案がありました。

③グループからは、児童・生徒数に関しては、若い世代の意見や地域独自の教育のあり方が提案されました。移住・定住については、国や道の取り組みにも言及されました。ふるさと就職奨励金や空き家活用についても意見がありました。

りました。除排雪に関しては、マンパワー不足や除雪の効率性についての提案がありました。参加された市民の皆さま、ありがとうございました。



議会の動き

令和6年2月～令和6年4月

【2月】

- 9日 市議会議員共済会
第127回代議員会(東京都)
- 13日 市議会と市民との意見交換会
- 16日 中空知衛生施設組合議会
第1回定例会(滝川市)
- " 石狩川流域下水道組合議会
第1回定例会(滝川市)
- " 中空知広域市町村圏組合議会
第1回定例会(滝川市)
- 20日 総務常任委員会
- 21日 社会産業常任委員会
- 29日 議員会派代表者会議
議会運営委員会

【3月】

- 1日 空知教育センター組合議会
第1回定例会(滝川市)
- " 滝川地区広域消防事務組合議会
第1回定例会(滝川市)
- 5日 一般国道452号建設促進等
要望活動(札幌市)
- 7日～22日 第2回市議会(定例会)
- 8日 議員会派代表者会議
議会運営委員会
- 11日 総務常任委員会
- 12日 社会産業常任委員会
- 15日～21日 予算審査特別委員会
- 18日 議員会派代表者会議
議会運営委員会
- 21日 議員会派代表者会議
議会運営委員会
- 22日 社会産業常任委員会
議会運営委員会
広報広聴委員会

【4月】

- 10日 北海道市議会議長会道央支部
協議会(赤平市)
- 16日 広報広聴委員会
- 19日 社会産業常任委員会
市内浄水場現地視察
- 22日 広報広聴委員会
議員会派代表者会議
議会運営委員会
- 23日～24日 北海道市議会議長会
第87回定期総会(苫小牧市)
- 24日 一般国道452号建設促進等
要望活動(東京都)
- 26日 第3回市議会(臨時会)

編集後記

令和6年度予算を審査する重要な3月定例会が終了し、市民生活に深く関わる多くの大切な議案を議決いたしました。議案を詳細に読めば読むほど議決する重みを強く感じます。少しずつですが、皆様の暮らしが明るい方向に向かっていくものと信じております。さて、今定例会では、議会改革の一環として、パソコンやタブレットの議場への持ち込みを試験的に行いました。議場では約半数の議員が数百枚にも及ぶ紙の議案等の代わりに、データが映し出された画面へ視線を注ぎながら議事が進み、活発な議論が交わされました。議案の差し替えや追加など担当部署の労力、紙コストの削減を目標に試験的に導入しましたが、今後浸透するまで試行錯誤を繰り返しながら進めていきたいと思っております。私事ではありますが1年が経過し勉強させていただきましたことが多くありました。これからも皆様の暮らしを守ることを念頭に置いて邁進してまいります。

◆ 芦別市議会広報広聴委員会

委員長 松尾達矢

副委員長 大鎌光純

委員 竹内 真、松井邦男